

## 公立大学法人広島市立大学中期目標

### 目次

はじめに

第1 中期目標の期間

第2 教育研究等の質の向上に関する目標

第3 業務運営の改善及び効率化等に関する目標

はじめに

公立大学法人広島市立大学は、平成22年に公立大学法人に移行し、「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」という建学の基本理念の下、自主性及び自律性が発揮できる公立大学法人制度の利点を生かしながら、国際学、情報科学、芸術学及び平和学という特色のある学部、研究科及び研究所の構成を生かした教育研究を推進し、豊かな人間性と確かな社会性を備える有為な人材の育成に取り組んできた。また、本市との連携などにより様々な成果を社会へ積極的に還元し、「国際平和文化都市の「知」の拠点ー地域と共生し、市民の誇りとなる大学ー」を目指した取組を進めてきた。

今日、少子高齢化、グローバル化及び情報化の進展、雇用環境及び地域社会の変容など、大学を取り巻く社会経済環境が刻々と変化する中で、公立大学法人広島市立大学においては、高等教育研究機関としての使命を果たすための教育研究の質の向上に加え、地球規模で活躍できる人材、地域社会の持続的な発展を支える人材及び多様な環境下においても自己の能力を発揮できる人材の育成並びに大学の国際化などへの対応が、より一層重要となっている。

このため、公立大学法人広島市立大学が、これまでの取組を基本としつつ、こうした社会経済環境の変化に対応する取組を着実に推進するよう、広島市長は、次に掲げる重点指針に基づき中期目標を定める。

<重点指針>

- 1 国際学、情報科学、芸術学及び平和学の特色ある学部、研究科及び研究所の構成を生かした質の高い教育研究を行う。
- 2 広島の高等教育研究機関として、平和の創造に向けた取組を推進することにより、世界平和に貢献する。

- 3 国際社会及び広島都市圏をはじめとした地域の発展に貢献する人材を育成する。
- 4 グローバルな視点に立った教育研究の推進及び教育環境の整備により、大学の国際化を推進する。
- 5 広島都市圏の「知」の拠点として、教育研究成果を社会へ幅広く還元することにより、都市機能の強化及び地域の活性化に貢献する。
- 6 長期的な視点に立った執行体制の充実により、公立大学法人制度の利点を生かした戦略的かつ機動的な大学運営を行う。

## 第1 中期目標の期間

平成28年4月1日から平成34年3月31日までの6年間とする。

## 第2 教育研究等の質の向上に関する目標

### 1 教育に関する目標

#### (1) 教育内容の充実

各学部及び研究科における質の高い教育を行うとともに、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性をかん養するため、各学部及び研究科の枠を越えた幅広い教育の充実を図る。加えて、地方創生に取り組む「地（知）の拠点大学」として、地域との連携・協働により、多様な環境下での実践的な教育を推進する。

また、「国際平和文化都市」を都市像とする本市の設立した公立大学法人が設置する大学として、平和に関する教育を積極的に推進するとともに、グローバル化への対応力を育成するための機会の充実を図る。

学部専門教育では、各学部の理念と専門分野の特色に対応した効果的な専門教育を行う。

大学院教育では、国際学、情報科学、芸術学及び平和学の特色ある研究科及び研究所の構成を生かした個性的な教育を実施し、高度な知識を身に付けさせるとともに、自己の能力を発揮して課題に対応でき、国際社会及び地域の発展に貢献できる研究者及び高度人材を養成する。

#### (2) 教育方法等の改善

各学部及び研究科の教育目標を実現し、学生にとって魅力ある教育を提供するため、授業内容及び授業方法の改善を図るとともに、必要な教育環境を整備する。

また、学生が自主的かつ主体的に学習に取り組むことができるよう、学習環境を整備する。

## 2 学生の確保及び支援に関する目標

### (1) 学生の確保

受験生の動向を踏まえた効果的な入試広報を展開するとともに、国内外からの意欲のある優秀な学生の確保に向けた取組を積極的に進める。

### (2) 学生への支援

全ての学生が心身ともに健康で充実した大学生活を送ることができるよう、学習環境、生活環境、健康管理、課外活動等様々な面で支援の充実を図る。

また、学生自らが、社会の中で自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を実現するための力を身に付けるよう、また、やりがいを持って働く生き方について考え、行動できるよう、入学時からキャリア形成に関する支援の充実を図るとともに、地元企業との連携強化等により、就職支援の充実を図る。

## 3 研究に関する目標

教員それぞれの独創性ある研究を推進するとともに、国際学、情報科学、芸術学及び平和学の特色ある学部、研究科及び研究所の構成を生かした横断的な研究、広島平和研究所を軸とした世界的な視点に立った平和研究、地域課題の解決に向けた研究をはじめ、個性的な研究活動及び学内外との研究交流を積極的に展開する。その研究成果を教育に反映させるとともに、社会に還元する。

また、外部資金の積極的な獲得と活用により、研究の活性化を図る。

## 4 社会貢献に関する目標

教育研究成果を社会に還元するため、社会連携センターを中心的な窓口として、学外研究機関、企業、NPO、地域コミュニティ等との交流及び連携を積極的に推進する。

また、広島都市圏の「知」の拠点として、提言、施策立案、技術供与等を通じて、地域行政課題の解決及び都市機能の強化に貢献する。

さらに、広く市民に生涯学習の場を提供するため、公開講座の充実等を図る。

## 5 国際交流に関する目標

グローバルな知見を得るとともに、大学の国際化を推進するため、学生及び教員の国際交流を積極的に推進するとともに、留学生への支援の充実を図る。

### 第3 業務運営の改善及び効率化等に関する目標

#### 1 業務運営の改善及び効率化に関する目標

##### (1) 機動的かつ効率的な運営体制の構築

質の高い教育研究が継続的に推進されるよう、中長期的かつ経営的視点から、幅広い人事体制の確保並びにコスト意識を持った業務改善及び効率化により、機動的かつ効率的な大学運営を行う。

また、社会経済環境の変化に即応する経営を担保する観点から、学外専門家の一層の活用を図る。

##### (2) 社会に開かれた大学づくりの推進

教育研究成果の積極的な広報及び大学ブランドの向上に向けた戦略的な情報発信の強化により、社会に開かれた大学づくりを推進するとともに、地域のニーズ等を的確に把握し、教育研究等への反映を図る。

#### 2 財務内容の改善に関する目標

##### (1) 自己収入の増加

教育研究環境を向上させるため、外部資金の積極的な獲得に取り組むなど、自己収入の増加を図る。

##### (2) 運営経費の見直し

質の高い教育研究が継続的に推進されるよう、経営的視点から、人員配置を含め、大学運営に関するあらゆる経費の見直し及び効率的な執行を図る。

#### 3 自己点検及び評価に関する目標

自己点検、自己評価及び第三者機関による評価を定期的実施することにより、大学運営の改善に努める。また、評価に関する情報を積極的に公開する。

#### 4 その他業務運営に関する重要目標

##### (1) 施設及び設備の適切な維持管理等

快適なキャンパス環境を確保するため、既存の施設及び設備の適切な維持管理及び計画的な改修を行う。

##### (2) 安全で良好な教育研究環境の確保

学生及び教職員の安全衛生管理、人権及び法令遵守に関する意識の向上を図るとともに、災害等不測の事態に適切に対応できる体制の充実に取り組むことにより、安全で良好な教育研究環境を確保する。